

山ありダニあり

ダニが媒介する感染症から身を守るために



【ダニが媒介する感染症】重症熱性血小板減少症候群(SFTS)・ダニ媒介脛炎・日本紅斑熱・つつが虫病・ライム病など

ダニに咬まれないポイント



●肌の露出を少なくする

- 長袖・長ズボン・登山用スパッツ等を着用する
- シャツの裾はズボンの中に、ズボンの裾は靴下や長靴の中に入れる
- 帽子・手袋を着用し、首にタオルを巻くなど
- 足を完全に覆う靴を履く(サンダルなどは避け)

●明るい色の服を着る

●虫除け剤を使用する

※野外活動後は入浴し、ダニに咬まれていないか確認しましょう。特に、わきの下、足の付け根、手首、腕の裏、脚の下、頭部(髪の中)などに注意しましょう。

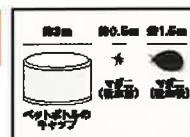


ダニに咬まれたときの対処法

- 無理に引き抜こうとせず、医療機関(皮膚科など)で処置(マダニの抜去、洗浄など)をしてもらいましょう。
- マダニに咬まれた後、数週間程度は体温の変化に注意をし、発熱等の症状が認められた場合は医療機関で診察を受けてください。

受診時に医師に伝えること

- ①野外活動の日付
- ②場所
- ③発症前の行動



ダニ媒介感染症 厚生労働省

当該地のダニ媒介感染症の状況については各自治体HPも参考してください。



長崎県五島保健所

日付 口令和7年3月
名前

回覧版

<ツツガムシ病>

感染経路：病原体を保有するツツガムシに刺され
ることで感染する

潜伏期：5～14日

症状：全身のだるさ、食欲不振とともに頭痛、
悪寒、発熱など

<日本紅斑熱>

感染経路：病原体を保有するマダニに刺されることで感染する

潜伏期：2～8日

症状：頭痛、発熱、だるさを伴う。発熱、
発疹など

<重症熱性血小板減少症候群(SFTS)>

感染経路：病原体を保有するマダニに刺されることで感染する

潜伏期：6日～2週間程度

症状：発熱、消化器症状（吐き気、嘔吐、腹痛、下痢、下血）を主徴とし、時に、腹痛、筋肉痛、神経症状、リンパ節の腫れ、出血症状など



【ダニが媒介する感染症】重症熱性血小板減少症候群(SFTS)・ダニ媒介脳炎・日本紅斑熱・つつが虫病・ライム病など	
●ダニに刺されないポイント	
●肌の露出を少なくする	野外活動時は入浴し、ダニに刺されない ないか確認しましょう。特に、わきの下、足の付け根、手首、腕の裏、耳の下、頭部 (髪の毛の中)などに注意しましょう。
●明るい色の服を着る	
●虫除け剤を使用する	
●ペットのダニ対策	
●ダニ駆除剤の使用等について獣医師に相談。	
●ペットが外から帰宅したらダニがついているか確認。	
●ダニが皮膚に食い込んでいる場合は動物病院へ。	
※ペットを介して、庭や屋内にダニが持ち込まれることがあります。	

ダニ媒介感染症 発生状況



* 入浴でダニがついていないかチェックすることも有効です。



ペット(犬・猫)も対策が必要

飼い猫のダニ媒介性感染症の
感染が確認されており、注意が
必要です。

猫は必ず室内で飼いましょう。
犬もできれば室内飼いが安心で
す。

また、動物病院で予防薬をつ
けてもらいましょう。

★ Danibaikei kannsensyou



長崎県五島保健所